

先進福祉千葉県一まちづくりビジョン

町長へ提出 住み慣れた地域で住み続けられるまちづくりに向けて

公募を含む11人の委員で組織された「先進福祉ビジョン懇談会」（座長 市村公道氏）が、3月31日に開催された最終の懇談会で、「先進福祉千葉県一まちづくりビジョン」を提出しました。



座長から町長へ手渡されました

懇談会では、従来の公的な福祉サービスにとられず、新たな福祉体制の構築を目指し、多くの時間と活発な議論が重ねられました。



活発な議論が行われました

このビジョンは「先進福祉千葉県一のまちづくり」すなわち「地域のつながり、支え合い、助け合い及び郷土愛を基本とし、町民一人ひとりが自然と文化と調和した健康で幸せな生きがいのある豊かな生活を送れるまちづくり」を住民の立場から意見交換、自由討議を行い、全9回の懇談会を経て、まとめられたものです。

町では、ビジョンの内容を踏まえ、現在策定中の第5次総合計画との整合を図りながら、ビジョンの実現に向け、取り組んでいきます。

なお、ビジョンに記載している施策の方向性の要旨は、次のとおりです。詳しくは町ホームページをご覧ください。

生活を守り

命を守る安心な町

要介護者、要支援者や介護

者等への支援の充実を図ることが必要です。

子育て支援の町

誰でも、いつでも自由に預けることが可能な保育園の設置や、支援を要する高齢者と子どもたちが交流することができる施設の設置などの検討が必要です。

スポーツ・レクリエーション活動および文化サークル活動が盛んな町

サークルは、若い世代から高齢者まで広く開かれた場であり、楽しく仲間と語り合い、技能を向上させ、心と体の健康をつくり、人生に生きがいを与えてくれるものです。従って町民が進んで参加することが重要であり、そのための動機付けが必要です。

自治会活動が盛んな町

自治会ごとに活動に差がありますが、福祉の中核となり、

お互いに支え合い、助け合う地域連帯感のある組織として育成することが必要です。

福祉情報のネットワークが構築されている町

福祉の対象者の情報を収集・把握し、迅速に対応できるようにネットワークを構築し、情報を共有することが必要です。

農村部の特性を活用した町

農村部の特性を活かし、集会所を活用した交流事業の展開や、耕作されていない農地を高齢者の健康づくりや軽度障害者等のリハビリに利用で

きるようにすることが必要です。

地域商工業との結びつきを大切にしている町

「生涯現役社会」の実現により活力ある高齢化社会の実現や新たな福祉サービスの担い手の育成などの検討が必要です。

高齢者が生きがいをもちて安心して住める町

高齢者が自然と集まり、コミュニケーションや健康づくりができるように再開発をすることが必要です。問い合わせ 経営企画課企画総合調整班 ☎223

少子高齢化の影響
(社会保障費の増大・町民税の減少)

施策の方向性の提案

- ①生活を守り、命を守る安心な町
- ②子育て支援の町
- ③スポーツ・レクリエーション活動および文化サークル活動が盛んな町
- ④自治会活動が盛んな町
- ⑤福祉情報のネットワークが構築されている町
- ⑥農村部の特性を活用した町
- ⑦地域商工業との結びつきを大切にしている町
- ⑧高齢者が生きがいをもって安心して住める町

地域のつながり、支え合い、助け合い、郷土愛

住み慣れた地域で住み続けられる「まち」

先進福祉千葉県一のまちづくり

健康で幸せな生きがいのある豊かな生活を送れる「まち」